



「安心して産み育てることができるまち」  
 を目指して  
 (包括的で切れ目のないサポートの構築)

### 背景・課題

- 市の子育て施策は、「『“志”あふれるまち』～安心して子どもを産み育てることができるまち～」を基本理念として、**県内トップクラスの施策充実を図ってきた**

**主な取り組み**

不妊治療費助成事業	：適用内外問わず不妊治療にかかった費用の自己負担分を助成 (R4～)
出産祝金支給事業	：第1子から10万円を出産した母親へ支給【市独自支援を拡充】 (R6～)
子ども医療費助成事業	：出生から高校生までの医療費の無償化【市独自支援を拡充】 (H 26～)
保育料無償化事業	：保育料を完全無償化【市独自支援を拡充】 (R6～)
医療的ケア児保育支援	：医療的ケア児の地域生活支援の向上を図る保育体制を整備 (R5～)
給食費補助事業	：小・中学校の学校給食費の費用負担ゼロ【市独自支援を拡充】 (R6～)



- 一方で、市の人口減少とともに、**医療機関減**など、子育てをめぐる環境は厳しい状況
- 市では、「…あらゆる“志”を掲げ、夢や目標の実現に向けて努力し、

…行動を起こすことによって、…市民が輝き、地域が輝き、志布志市が輝く…」

(第2期 志布志市子ども・子育て支援事業計画 抜粋)

この熱き思いで、子育て環境の充実を目指している

### 事業内容

- 市独自支援を拡充し、出産祝金を**第1子から10万円を母親へ支給** (R6～)

(旧) 第1・2子：5万円、第3子～：10万円 → (新) 第1子～：10万円



イメージ

- 安心して出産や子育てができる環境の構築を目指し、

**設置型ベビーケアルーム、医療相談アプリ**を初導入 (R6～)

- 小児医療の確保のため、

**小児科開設に対して、最大1億円を補助** (R6～)

最大1億円助成!!

